



親子チャレンジ教室 “ヤッターゾー!!”

みんなで楽しく参加しましょう 講座・教室を開きます

▶ 申し込み、問い合わせは中央公民館へ ◀
(☎38-2234)

表I 親子チャレンジ教室

5月	開級式・畑作り	10月	畑の収穫祭
6月	野外観察 矢代田山の貝の化石を観察しよう	11月	凧を作って上げよう
7月	星の観察 屋上からの夜空を	12月	クリスマスパーティー
8月	キャンプにチャレンジ	2月	スキーにチャレンジ
9月	ケーキをつくろう	3月	反省会

◆折り紙教室◆
遊べる折り紙・動く折り紙等
色々折ったことのない作品をつ
くってみましょう。
期日 五月から毎月第一・三・五
日 第三日曜日(月二回)
午前十時から十二時

◆おもしろ雑学講座◆
身近な人のお話を楽しく聞い
て決して損しない講座です。
期日 五月から毎月第二・金曜日
午後七時三十分から九時
会場 中央公民館二階会議室
募集人数 四十名

◆親子チャレンジ教室◆
親子で力を合わせ、知恵を出
し合って新しい活動にチャレ
ンジしよう。
期日 五月から毎月第二・五
日 中央公民館二階会議室
対象 一般男女
募集人数 二十名
会費 実費徴収
指導 板谷弘子さん(鎌倉)

◆幼児家庭教育級◆
子どもとのコミュニケーション
を深めましょう。
期日 五月から毎月第三・水曜日
午前十時から十一時三十分
会場 中央公民館二階会議室
対象 ○才三才までの育児
者
会費 無料
内容 表IIのとおり

◆乳児家庭教育級◆
小さい子のお母さん集まって
下さい。一緒に仲間づくりをし
ましょう。
期日 五月から毎月第二・金曜日
午前十時から十一時三十分
会場 中央公民館二階会議室
対象 ○才三才までの育児
者
会費 無料
内容 表IIのとおり

表II つくしんぼ

5月	開級式	10月	花とみどり館で遊ぼう
6月	乳児のけがの特徴と 応急処置	11月	ぬり絵をぬろう
7月	花積先生のお話し (予定)	12月	子供のかかりやすい 病気と予防
8月	プール遊び	2月	保育園の先生と 一緒に遊ぼう
9月	親子ダンス	3月	開級式

◆陶芸教室◆
陶芸に興味のある方は取り組
んでみませんか。初心者大歓迎。
期日 四月二十一日(金)より
毎月第一・第三・五曜日(半
年間) 午後七時から九時
会場 中央公民館二階会議室
定員 十五人
会費 一人年五千元

◆手話教室◆
手と手で行う会話を体験しま
しょう。
期日 毎月木曜日
午後七時三十分から九時
会場 ふれあい会館
会費 一人千円

◆花いっぱい教室◆
花を愛する心を大切に。さあ
みなさんどうぞ。
詳細は後日ご案内します。

◆英会話教室◆
サア！皆さん、今年も英語で
お話できるように手助けします。
期日 毎週金曜日
午後七時三十分から九時
会場 中央公民館
募集人数 十名
会費 月額三千元(テキスト他)
指導 ジョー・セレルさん
申込み 三月末日までに小柳え
り子(☎三三三〇八七
か中央公民館へ)

◆手話教室◆
手と手で行う会話を体験しま
しょう。
期日 毎月木曜日
午後七時三十分から九時
会場 ふれあい会館
会費 一人千円

表III あすなろっ子広場

5月	開級式	10月	思いやりのある子に 育てる為には
6月	おやつづくり	11月	排泄の仕方を教えよう
7月	言語の発達について	12月	クリスマスケーキを つくろう
8月	プール遊び	2月	家庭の役割り
9月	ビデオ映写「事故防止」	3月	開級式

◆手話教室◆
手と手で行う会話を体験しま
しょう。
期日 毎月木曜日
午後七時三十分から九時
会場 ふれあい会館
会費 一人千円

◆手話教室◆
手と手で行う会話を体験しま
しょう。
期日 毎月木曜日
午後七時三十分から九時
会場 ふれあい会館
会費 一人千円

◆手話教室◆
手と手で行う会話を体験しま
しょう。
期日 毎月木曜日
午後七時三十分から九時
会場 ふれあい会館
会費 一人千円

◆手話教室◆
手と手で行う会話を体験しま
しょう。
期日 毎月木曜日
午後七時三十分から九時
会場 ふれあい会館
会費 一人千円

◆手話教室◆
手と手で行う会話を体験しま
しょう。
期日 毎月木曜日
午後七時三十分から九時
会場 ふれあい会館
会費 一人千円

○手話教室
手と手で行う会話を体験しま
しょう。
期日 毎月木曜日
午後七時三十分から九時
会場 ふれあい会館
会費 一人千円

○手話教室
手と手で行う会話を体験しま
しょう。
期日 毎月木曜日
午後七時三十分から九時
会場 ふれあい会館
会費 一人千円

○手話教室
手と手で行う会話を体験しま
しょう。
期日 毎月木曜日
午後七時三十分から九時
会場 ふれあい会館
会費 一人千円

○手話教室
手と手で行う会話を体験しま
しょう。
期日 毎月木曜日
午後七時三十分から九時
会場 ふれあい会館
会費 一人千円

○手話教室
手と手で行う会話を体験しま
しょう。
期日 毎月木曜日
午後七時三十分から九時
会場 ふれあい会館
会費 一人千円

○手話教室
手と手で行う会話を体験しま
しょう。
期日 毎月木曜日
午後七時三十分から九時
会場 ふれあい会館
会費 一人千円

○手話教室
手と手で行う会話を体験しま
しょう。
期日 毎月木曜日
午後七時三十分から九時
会場 ふれあい会館
会費 一人千円

○手話教室
手と手で行う会話を体験しま
しょう。
期日 毎月木曜日
午後七時三十分から九時
会場 ふれあい会館
会費 一人千円

○手話教室
手と手で行う会話を体験しま
しょう。
期日 毎月木曜日
午後七時三十分から九時
会場 ふれあい会館
会費 一人千円

○手話教室
手と手で行う会話を体験しま
しょう。
期日 毎月木曜日
午後七時三十分から九時
会場 ふれあい会館
会費 一人千円

○手話教室
手と手で行う会話を体験しま
しょう。
期日 毎月木曜日
午後七時三十分から九時
会場 ふれあい会館
会費 一人千円

○手話教室
手と手で行う会話を体験しま
しょう。
期日 毎月木曜日
午後七時三十分から九時
会場 ふれあい会館
会費 一人千円

○手話教室
手と手で行う会話を体験しま
しょう。
期日 毎月木曜日
午後七時三十分から九時
会場 ふれあい会館
会費 一人千円

○手話教室
手と手で行う会話を体験しま
しょう。
期日 毎月木曜日
午後七時三十分から九時
会場 ふれあい会館
会費 一人千円

○手話教室
手と手で行う会話を体験しま
しょう。
期日 毎月木曜日
午後七時三十分から九時
会場 ふれあい会館
会費 一人千円

○手話教室
手と手で行う会話を体験しま
しょう。
期日 毎月木曜日
午後七時三十分から九時
会場 ふれあい会館
会費 一人千円

○手話教室
手と手で行う会話を体験しま
しょう。
期日 毎月木曜日
午後七時三十分から九時
会場 ふれあい会館
会費 一人千円

○手話教室
手と手で行う会話を体験しま
しょう。
期日 毎月木曜日
午後七時三十分から九時
会場 ふれあい会館
会費 一人千円

○手話教室
手と手で行う会話を体験しま
しょう。
期日 毎月木曜日
午後七時三十分から九時
会場 ふれあい会館
会費 一人千円

○手話教室
手と手で行う会話を体験しま
しょう。
期日 毎月木曜日
午後七時三十分から九時
会場 ふれあい会館
会費 一人千円

○手話教室
手と手で行う会話を体験しま
しょう。
期日 毎月木曜日
午後七時三十分から九時
会場 ふれあい会館
会費 一人千円

○手話教室
手と手で行う会話を体験しま
しょう。
期日 毎月木曜日
午後七時三十分から九時
会場 ふれあい会館
会費 一人千円

○手話教室
手と手で行う会話を体験しま
しょう。
期日 毎月木曜日
午後七時三十分から九時
会場 ふれあい会館
会費 一人千円

○手話教室
手と手で行う会話を体験しま
しょう。
期日 毎月木曜日
午後七時三十分から九時
会場 ふれあい会館
会費 一人千円

○手話教室
手と手で行う会話を体験しま
しょう。
期日 毎月木曜日
午後七時三十分から九時
会場 ふれあい会館
会費 一人千円

○手話教室
手と手で行う会話を体験しま
しょう。
期日 毎月木曜日
午後七時三十分から九時
会場 ふれあい会館
会費 一人千円

○手話教室
手と手で行う会話を体験しま
しょう。
期日 毎月木曜日
午後七時三十分から九時
会場 ふれあい会館
会費 一人千円

○手話教室
手と手で行う会話を体験しま
しょう。
期日 毎月木曜日
午後七時三十分から九時
会場 ふれあい会館
会費 一人千円

○手話教室
手と手で行う会話を体験しま
しょう。
期日 毎月木曜日
午後七時三十分から九時
会場 ふれあい会館
会費 一人千円

○手話教室
手と手で行う会話を体験しま
しょう。
期日 毎月木曜日
午後七時三十分から九時
会場 ふれあい会館
会費 一人千円

○手話教室
手と手で行う会話を体験しま
しょう。
期日 毎月木曜日
午後七時三十分から九時
会場 ふれあい会館
会費 一人千円

○手話教室
手と手で行う会話を体験しま
しょう。
期日 毎月木曜日
午後七時三十分から九時
会場 ふれあい会館
会費 一人千円

○手話教室
手と手で行う会話を体験しま
しょう。
期日 毎月木曜日
午後七時三十分から九時
会場 ふれあい会館
会費 一人千円

○手話教室
手と手で行う会話を体験しま
しょう。
期日 毎月木曜日
午後七時三十分から九時
会場 ふれあい会館
会費 一人千円

○手話教室
手と手で行う会話を体験しま
しょう。
期日 毎月木曜日
午後七時三十分から九時
会場 ふれあい会館
会費 一人千円

○手話教室
手と手で行う会話を体験しま
しょう。
期日 毎月木曜日
午後七時三十分から九時
会場 ふれあい会館
会費 一人千円

○手話教室
手と手で行う会話を体験しま
しょう。
期日 毎月木曜日
午後七時三十分から九時
会場 ふれあい会館
会費 一人千円

○手話教室
手と手で行う会話を体験しま
しょう。
期日 毎月木曜日
午後七時三十分から九時
会場 ふれあい会館
会費 一人千円

○手話教室
手と手で行う会話を体験しま
しょう。
期日 毎月木曜日
午後七時三十分から九時
会場 ふれあい会館
会費 一人千円

○手話教室
手と手で行う会話を体験しま
しょう。
期日 毎月木曜日
午後七時三十分から九時
会場 ふれあい会館
会費 一人千円

○手話教室
手と手で行う会話を体験しま
しょう。
期日 毎月木曜日
午後七時三十分から九時
会場 ふれあい会館
会費 一人千円

○手話教室
手と手で行う会話を体験しま
しょう。
期日 毎月木曜日
午後七時三十分から九時
会場 ふれあい会館
会費 一人千円

○手話教室
手と手で行う会話を体験しま
しょう。
期日 毎月木曜日
午後七時三十分から九時
会場 ふれあい会館
会費 一人千円

○手話教室
手と手で行う会話を体験しま
しょう。
期日 毎月木曜日
午後七時三十分から九時
会場 ふれあい会館
会費 一人千円

○手話教室
手と手で行う会話を体験しま
しょう。
期日 毎月木曜日
午後七時三十分から九時
会場 ふれあい会館
会費 一人千円

○手話教室
手と手で行う会話を体験しま
しょう。
期日 毎月木曜日
午後七時三十分から九時
会場 ふれあい会館
会費 一人千円

○手話教室
手と手で行う会話を体験しま
しょう。
期日 毎月木曜日
午後七時三十分から九時
会場 ふれあい会館
会費 一人千円

○手話教室
手と手で行う会話を体験しま
しょう。
期日 毎月木曜日
午後七時三十分から九時
会場 ふれあい会館
会費 一人千円

○手話教室
手と手で行う会話を体験しま
しょう。
期日 毎月木曜日
午後七時三十分から九時
会場 ふれあい会館
会費 一人千円

○手話教室
手と手で行う会話を体験しま
しょう。
期日 毎月木曜日
午後七時三十分から九時
会場 ふれあい会館
会費 一人千円

○手話教室
手と手で行う会話を体験しま
しょう。
期日 毎月木曜日
午後七時三十分から九時
会場 ふれあい会館
会費 一人千円

○手話教室
手と手で行う会話を体験しま
しょう。
期日 毎月木曜日
午後七時三十分から九時
会場 ふれあい会館
会費 一人千円

○手話教室
手と手で行う会話を体験しま
しょう。
期日 毎月木曜日
午後七時三十分から九時
会場 ふれあい会館
会費 一人千円

○手話教室
手と手で行う会話を体験しま
しょう。
期日 毎月木曜日
午後七時三十分から九時
会場 ふれあい会館
会費 一人千円

○手話教室
手と手で行う会話を体験しま
しょう。
期日 毎月木曜日
午後七時三十分から九時
会場 ふれあい会館
会費 一人千円

○手話教室
手と手で行う会話を体験しま
しょう。
期日 毎月木曜日
午後七時三十分から九時
会場 ふれあい会館
会費 一人千円

○手話教室
手と手で行う会話を体験しま
しょう。
期日 毎月木曜日
午後七時三十分から九時
会場 ふれあい会館
会費 一人千円

○手話教室
手と手で行う会話を体験しま
しょう。
期日 毎月木曜日
午後七時三十分から九時
会場 ふれあい会館
会費 一人千円

○手話教室
手と手で行う会話を体験しま
しょう。
期日 毎月木曜日
午後七時三十分から九時
会場 ふれあい会館
会費 一人千円

○手話教室
手と手で行う会話を体験しま
しょう。
期日 毎月木曜日
午後七時三十分から九時
会場 ふれあい会館
会費 一人千円

○手話教室
手と手で行う会話を体験しま
しょう。
期日 毎月木曜日
午後七時三十分から九時
会場 ふれあい会館
会費 一人千円

○手話教室
手と手で行う会話を体験しま
しょう。
期日 毎月木曜日
午後七時三十分から九時
会場 ふれあい会館
会費 一人千円

○手話教室
手と手で行う会話を体験しま
しょう。
期日 毎月木曜日
午後七時三十分から九時
会場 ふれあい会館
会費 一人千円

○手話教室
手と手で行う会話を体験しま
しょう。
期日 毎月木曜日
午後七時三十分から九時
会場 ふれあい会館
会費 一人千円

○手話教室
手と手で行う会話を体験しま
しょう。
期日 毎月木曜日
午後七時三十分から九時
会場 ふれあい会館
会費 一人千円

○手話教室
手と手で行う会話を体験しま
しょう。
期日 毎月木曜日
午後七時三十分から九時
会場 ふれあい会館
会費 一人千円

○手話教室
手と手で行う会話を体験しま
しょう。
期日 毎月木曜日
午後七時三十分から九時
会場 ふれあい会館
会費 一人千円

○手話教室
手と手で行う会話を体験しま
しょう。
期日 毎月木曜日
午後七時三十分から九時
会場 ふれあい会館
会費 一人千円

○手話教室
手と手で行う会話を体験しま
しょう。
期日 毎月木曜日
午後七時三十分から九時
会場 ふれあい会館
会費 一人千円

○手話教室
手と手で行う会話を体験しま
しょう。
期日 毎月木曜日
午後七時三十分から九時
会場 ふれあい会館
会費 一人千円

○手話教室
手と手で行う会話を体験しま
しょう。
期日 毎月木曜日
午後七時三十分から九時
会場 ふれあい会館
会費 一人千円

○手話教室
手と手で行う会話を体験しま
しょう。
期日 毎月木曜日
午後七時三十分から九時
会場 ふれあい会館
会費 一人千円

○手話教室
手と手で行う会話を体験しま
しょう。
期日 毎月木曜日
午後七時三十分から九時
会場 ふれあい会館
会費 一人千円

○手話教室
手と手で行う会話を体験しま
しょう。
期日 毎月木曜日
午後七時三十分から九時
会場 ふれあい会館
会費 一人千円

○手話教室
手と手で行う会話を体験しま
しょう。
期日 毎月木曜日
午後七時三十分から九時
会場 ふれあい会館
会費 一人千円

○手話教室
手と手で行う会話を体験しま
しょう。
期日 毎月木曜日
午後七時三十分から九時
会場 ふれあい会館
会費 一人千円

○手話教室
手と手で行う会話を体験しま
しょう。
期日 毎月木曜日
午後七時三十分から九時
会場 ふれあい会館
会費 一人千円

○手話教室
手と手で行う会話を体験しま
しょう。
期日 毎月木曜日
午後七時三十分から九時
会場 ふれあい会館
会費 一人千円

○手話教室
手と手で行う会話を体験しま
しょう。
期日 毎月木曜日
午後七時三十分から九時
会場 ふれあい会館
会費 一人千円

○手話教室
手と手で行う会話を体験しま
しょう。
期日 毎月木曜日
午後七時三十分から九時
会場 ふれあい会館
会費 一人千円

○手話教室
手と手で行う会話を体験しま
しょう。
期日 毎月木曜日
午後七時三十分から九時
会場 ふれあい会館
会費 一人千円

○手話教室
手と手で行う会話を体験しま
しょう。
期日 毎月木曜日
午後七時三十分から九時
会場 ふれあい会館
会費 一人千円

○手話教室
手と手で行う会話を体験しま
しょう。
期日 毎月木曜日
午後七時三十分から九時
会場 ふれあい会館
会費 一人千円

○手話教室
手と手で行う会話を体験しま
しょう。
期日 毎月木曜日
午後七時三十分から九時
会場 ふれあい会館
会費 一人千円

○手話教室
手と手で行う会話を体験しま
しょう。
期日 毎月木曜日
午後七時三十分から九時
会場 ふれあい会館
会費 一人千円

○手話教室
手と手で行う会話を体験しま
しょう。
期日 毎月木曜日
午後七時三十分から九時
会場 ふれあい会館
会費 一人千円

○手話教室
手と手で行う会話を体験しま
しょう。
期日 毎月木曜日
午後七時三十分から九時
会場 ふれあい会館
会費 一人千円

○手話教室
手と手で行う会話を体験しま
しょう。
期日 毎月木曜日
午後七時三十分から九時
会場 ふれあい会館
会費 一人千円

○手話教室
手と手で行う会話を体験しま
しょう。
期日 毎月木曜日
午後七時三十分から九時
会場 ふれあい会館
会費 一人千円

○手話教室
手と手で行う会話を体験しま
しょう。
期日 毎月木曜日
午後七時三十分から九時
会場 ふれあい会館
会費 一人千円

○手話教室
手と手で行う会話を体験しま
しょう。
期日 毎月木曜日
午後七時三十分から九時
会場 ふれあい会館
会費 一人千円

○手話教室
手と手で行う会話を体験しま
しょう。
期日 毎月木曜日
午後七時三十分から九時
会場 ふれあい会館
会費 一人千円

○手話教室
手と手で行う会話を体験しま
しょう。
期日 毎月木曜日
午後七時三十分から九時
会場 ふれあい会館
会費 一人千円

○手話教室
手と手で行う会話を体験しま
しょう。
期日 毎月木曜日
午後七時三十分から九時
会場 ふれあい会館
会費 一人千円

○手話教室
手と手で行う会話を体験しま
しょう。
期日 毎月木曜日
午後七時三十分から九時
会場 ふれあい会館
会費 一人千円

○手話教室
手と手で行う会話を体験しま
しょう。
期日 毎月木曜日
午後七時三十分から九時
会場 ふれあい会館
会費 一人千円

須戸公民館報

発行所 小須戸町 公民館
発行人 岡 謙 吾
発行日 毎月 15 日

ちよこつと一言 (84)

赤い山を緑の山に
今、私が遠くから我が町をみ
た時に目印としていたものは、
中継所の塔とむきだし赤土の
山です。どんだん山の姿や形が
変わっていき、なにかさびしい
我が家の近くにも近い将来な
くなるであろう山があります。
この山一つ公園として残せな
いのか、などと一人空想



矢代田第一
五十嵐順子
さん

にひたります。ロープのブラン
コあり。ターザンロープあり。
もちろんキャンプもO・K。小
鳥たちのさえずりを聞きながら
林の中の散歩もいじり……。老
若男女、十分に親しめる場所が
あってもいいのではないかな。
せつ々豊かな自然が

文化活動の在り方

そして人との交流をはかるには～

文化活動を やっていただけますか?

趣味をもちたい。趣味を見つけた。こう望んでいる人は大勢います。

又、現在趣味をもって活動している人も大勢います。皆さんと一緒に「文化活動」について考えてみましょう。

余暇を自分の趣味にあてる人は多くなっています。体を動かしたり、絵を書いたり、色々な形で余暇を充実させていることと思います。

小須戸町では、趣味をより伸ばし交流を深めながら、団体間の連携をめざす「文化協会」が設立されています。

各団体が組織化された事で、発表する場ができた。

○お互い協力しあって活動を活発にしよう、等
○お互いが自発的に積極的に活動するようにしました。

又、町に対し「文化協会」の設置を強く働きかけてきました。「文化協会」は地域の人たちと一緒に学び・集い・交流をしていくことを望んでいます。

文化活動の意味や、課題とは何だろうか。
そのような観点から座談会を開催しました。

文化活動を始めたきっかけは

司会 まずは、直接文化活動に関わっておられるみなさんからお話をお願いします。

小林 碁・将棋・麻雀・カラオケ・ゴルフ等私はその方面は全くダメで、人生経験とか年令がものを言う川柳を始めました。

中野 十八才の頃から、先輩と一緒に始め、俳句の道にどっぷりつかっています。

相田 親が家で追分など唄っていて、自然に覚え民謡の道に入りました。昔は「道楽者」と言

I表 各世代の割合 (6年9月末 総人口 10,399人)

世代	人数	総人口に対し
20代	1,239人	11.9%
30代	1,218人	11.7%
40代	1,569人	15.1%
50代	1,370人	13.2%
60代	1,328人	12.8%
70代～	1,248人	12.0%
計	7,972人	76.7%

理解も深まるのではないだろうか。
中野 拓本研究会の皆さんは演奏会をしていますね。むずかしい考えないでやっても良いのではないだろうか。

坂井 簡単に短時間でもいいから時間を決めてやれば、もっと町民の方々も関心をもってくれるんじゃないかと思えます。ただ飾って終るのではなく、一生懸命描いた作品がもつたいたいと思えます。自分もやってみよう

・意外と簡単ななあという気持ちを持たせるのも大事な点ではないでしょうか。
館長 確かに、解説者がいた方がよいでしょうね。

坂井 作品を見てその場で話を聞けば関心が高まっていくでしょう。レベルアップを考えていく事も大事です。

小林 自分の作品に説明をつけるのも良いことではないでしょうか。上手・下手関係なく自分の主張を説明してもらえればよい観る方も興味が高まると思います。

司会 次に、文化活動に一番関係する皆さんから、毎年開催しています町民展・文芸展・芸能祭についてのご意見をお聞かせ下さい。

坂井 パネルが揃っているし、会場も明るく、飾りつけもスムーズになりましたね。ちよつと

した工夫が変わってきたと感じています。それに加えて、その際説明会を開催し、より観る方の

と思いません。

村山 私たち油絵教室も、町民展の飾りつけが終わった後で先生から一点解説してもらっています。すごくタメになります。

風間 今回の文化祭期間中に、お茶会を開いたのですが、その際陶芸クラブの方がつくられたお茶碗を借りて使わせていただきました。参加者からは好評を得ました。「この次も使ってくださいね」と励まされました。

他の団体との交流が図られ大変良かったです。又、来年も考えていきたいと全員で話しています。

中野 初めて聞きました。私も参加してみたいですね。又、芸能祭も毎年出席させて

いただいています。皆さんのレベルは高いですね。

司会 大変活発に活動している中で、新しい人を育成するにはどうしたらいいでしょうか。

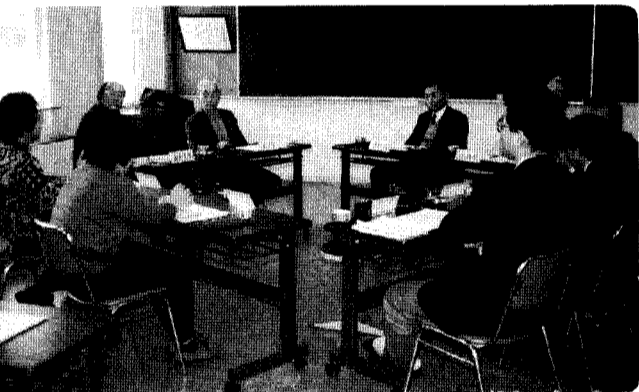
風間 町の方でやってみようと思っている人は大勢いると思いますが、すでにいる人はなかなか入室に入るとい人はなかなか入

りません。

小林 自分自身の作品に説明をつけるのも良いことではないでしょうか。上手・下手関係なく自分の主張を説明してもらえればよい観る方も興味が高まると思います。

司会 町の人口に対し、二十代三十代・四十代・五十代・六十代・七十代の比率を覗き下さい。

(I表のとおり)
こうして見ると、三十・四十代の方は約一八〇〇人います。いざ、六十・七十代になって趣味をもつには遅すぎます。あ



活発に意見を出していただきました。

つてこれないでしようね。やはり、新しい教室を設けた方が良いのではないのでしょうか。

公民館報特集「文化活動の在り方」

座談会参加者 (順不同: 敬称略)

- 野村 武 (小 向: 文化協会長)
- 小林 稔 (矢代田第11: 川 柳)
- 相田 勇 (鎌 倉: 民 謡)
- 坂井 清 (中央町 3: 書 道)
- 村山 睦 (新 町 1: コーラス 外)
- 風間 ヤヨ工 (若葉町 3: 茶 外)
- 岡 謙 吾 (中央公民館長)
- 青木 達 男 (社会教育係長)
- 藤 田 尚 義 (中央公民館主事) … 司会



左から風間さん、村山さん

る程度の年齢のうちに趣味を持つことができれば「より豊かな人生」を過ごせられるように思っています。しかし、覚えたい人は大勢いるとお話しますが、この人たちはどうすればよいか。

これからの文化協会としての問題点になる訳です。

やばり、最初は入門教室を活性化させるしかないと思えます。

皆さん、そうですね。

村山 ある若いお母さんが言っていました。今、若い人たちがグループの中に入るのを嫌うんだというんですね。個々に自分たちが自由に交流するのはいいんだそうですね。

坂井 そうですね。私もそう思いますが、特に若い男性の場合ゴルフとか職場のつきあいかで、文化活動に参加するのは少ないですね。

司会 町の人口に対し、二十代三十代・四十代・五十代・六十代・七十代の比率を覗き下さい。

(I表のとおり)
こうして見ると、三十・四十代の方は約一八〇〇人います。いざ、六十・七十代になって趣味をもつには遅すぎます。あ

のではないです。やっている人は隣りや友達を誘ってくるしかないです。

相田 小林さんが言うように、隣りの人を誘ってくるが高齢者が多いことになるんです。

小林 そういふことです。

司会 男性と女性を比べてみると考え方は違うと思えます。

館長 女性は子育てがあるし、終れば会社に通うとか色々忙しいんですよ。

村山 公民館で考えていたように、家庭教育の教室を開く時、子供連れが多いですね。その時保育室があったらいいなあと思

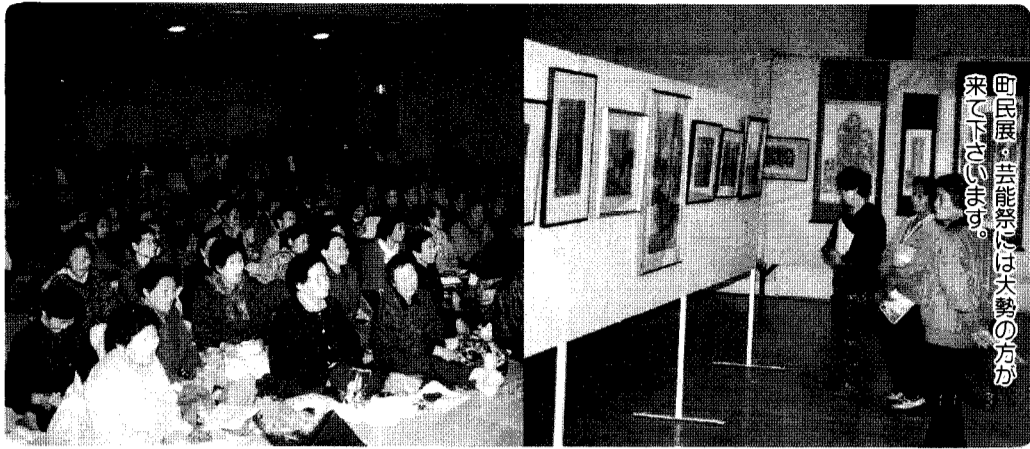
いました。

館長 保育室の件については、公運審の会議でも審議していますが、面倒なところもあります。今年度から、夜の陶芸教室を開級しました。会員は二十名のうち、四・五人は三十代前半の女性に参加しています。

総体的に今の若い人は、価値感が違うし、団体に入るとは嫌うんですね。これは、時代の差であってやむを得ないと思えます。

司会 若いお母さんは、育児や

地域文化集特



町民展・芸能祭には大勢の方が来て下さいます。

坂井 町民性も加えて、先日テレビで県内の文化施設の利用率が放送されていました。あまり有効に利用されていないの事でした。加茂市の文化会館で三十%



左から中野さん、小林さん

家事などで毎日を通じていますが、公民館の家庭教育学級に参加して、親子ダンスやレクレーションを体験し、すごく良かったとの声もあります。

坂井 自分が好きにならなければ必ず上手になりません。自発的に参加すればいくら年がいったとしても楽しむことができます。仲間づくりとが互いに精進したりして長く続けることができると思います。

中野 文化活動を一言でいえば趣味を楽しむながら、友だちと仲良く過ごすことではないでしょうか。

相田 地域には分館があります。この分館活動に参加していただき、活動の中から文化活動を見出し、伸ばしていくことができたらいなあとありますが、いかがでしょうか。

たいなものがあるんでしょうね。小林 先程から、後継者の件について、それぞれ皆さんが苦労されているけれども、うまくいっていない。それを更にどうしようかという話しにならないんですが、どうでしょうか。

館長 私の希望的観測ですが、現在の若夫婦が子供をつくる割合を統計から見ると、一・三四人ぐらいです。少子化の状況からして、これからの女性は四十代前半で子育てが終り手が離れると考えられます。手が離れ

館長 文化活動の活性化即生涯学習ということになります。誰でも使える施設の整備が必要ですね。公民館やふれあい会館、コミュニティセンターであるとか福祉センターとか色々な集

「スポーツ少年団」があります。今年「文化サークル少年団」的なものを結成させてほしいかなと思います。

現在、月一回の休みで、まだまだ子供にゆとりを持たせるのが第一です。

相田 この町でも同じ悩みを持つていて、早く話をしてほしいなあと願っています。

相田 今日の資料にあります。他町村から嫁いできた方々の声の中で、町に文化施設をつくってもらいたいとありますが、現在はどうなっているんでしょうか。

中野 文化活動の拠点としての施設については、文化協会として要望はしてあり、早く話しを進めていただきたいと願っています。

相田 施設の運営面も真剣に皆さんで検討しなければならぬですね。

村山 私はいっも思っているんですけど、踊りの時のステージが整っていない。すぐ取り外せるようになっていないのは理解はしていませんが、併用の使用はしていません。

村山 そうですね。そういうキチンと内容を整備した施設であれば若い方も集まるんじゃないでしょうか。

司会 公民館事業として毎年入門教室や講座を開級しています。教室については、公民館主催として三年間を目途に運営し、その後自主的に活動してもらっています。その時、文化協会に



毎年研修に向かうリーダーのみなさん



左から坂井さん、相田さん

加盟してもらったこともお願いしています。青木 行政の立場から文化活動について、文化振興を推進するため、皆さんのお話しを、今後の参考にしていきたくと思っています。

司会 スポーツと文化活動を比べてみますと、スポーツは活動や結果は表面に見えますが、文化活動は見えるようで見えないのが現実ではないでしょうか。情報として外に出すように、上手に利用しながら輪を広げていくことがポイントでしょうか。

館長 魅力的なビジョンを持つことも必要となります。芸能・音楽・文芸と多種多様な中、これだと思っ何かを見つけて出すことはむずかしいかも知れませんが、入門教室の種類を増やして、より多くの方から参加していただき「趣味」を伸ばすことにつながるのではないのでしょうか。当公民館も、文化協会と連携を保ちながら、人々とのふれあいを大切にしたいと考えています。

館長 アンケートをとったらいかがでしょうか。若い人たちの意識調査を、マジックにして、内容は公民館におまかせします。

風間 雰囲気も楽しく、気軽に和気あいあいと仲良く、教えたり教えられたりする教室づくりが大事だと思います。

小須戸町文化協会規約

- 第1条(名称) 本会は、小須戸町文化協会と称する。
- 第2条(組織) 本会は、本会の目的に賛同する小須戸町の文化団体をもって組織する。
- 第3条(事務局) 本会は、事務局を小須戸町中央公民館に置く。
- 第4条(目的) 本会は、各種活動を通して小須戸町の文化の振興と町民の融和を図ることを目的とする。
- 第5条(事業) 本会は、前条の目的達成のため次の事業を行う。
 1. 文化団体の登録
 2. 文化協会指導者の育成及び各種講習
 3. 関係諸団体との連携
 4. 他市町村文化団体との交流
 5. その他目的達成に必要と認める事項
- 第6条(役員) 本会に次の役員を置く。役員の任期は2年とし、再任は妨げない。

1. 会長	1名	5. 会計監査	2名
2. 副会長	2名	6. 幹事	2名
3. 理事	若干名	7. 代議員	(加盟団体より1名)
4. 会計	1名	8. 顧問	
- 第7条(役員選出) 役員は次のとおりとする。
 1. 会長・副会長は、理事会において選出し、総会の承認を経る。
 2. 会計・幹事は会長が指名する。
 3. 理事及び会計監査は、総会にて選出する。
 4. 代議員は、加盟団体より選出する。
 5. 顧問は、理事会で推薦し、総会の承認を経る。
- 第8条(役員任務) 役員は、次の任務を行う。
 1. 会長は本会を代表し会務を統括する。
 2. 副会長は会長を補佐し、会長事故ある時はこれを代理する。
 3. 理事は理事会を組織し、会の運営と事業の執行を図る。
 4. 会計監査は、会計を監査する。
- 第9条(会議) 会議は総会及び理事会とし、会長が招集してその運営にあたる。
 1. 総会は、定期総会と臨時総会とし、定期総会は役員及び加盟団体より3名以内をもって構成する。臨時総会は、代議員をもって構成する。
 2. 理事会は、会長、副会長、理事、会計、幹事をもって構成する。
- 第10条(総会) 総会は、本会目的達成のため、次の事項を審議する。
 1. 会則の改廃
 2. 事業計画並びに予算・決算の承認
 3. 役員選出及び承認
 4. 団体の加入・脱退の承認
- 第11条(会計) 本会の経費は、会費及び補助金その他をもってあてる。
 1. 本会の会計年度は、3月1日より翌年の2月末日までとする。

天神様

この掛け軸のまん中にいる方が、天神様です。この人は、菅原道真という、りっぱな学者で八九三年(寛平九年)に、当時の天皇が、十三才の皇子を次の天皇につがせた時に、道真を政治をつかさどる「右大臣」に任じました。

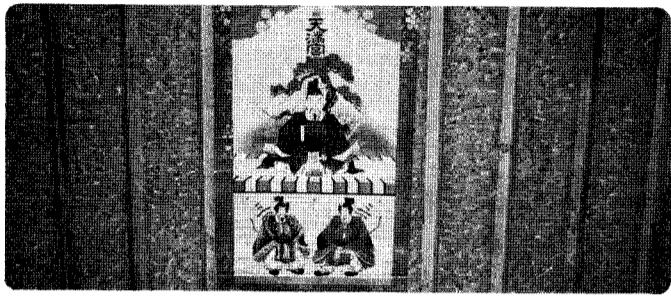
これを藤原一族がねたんで、天皇に道真の悪口をつけ口して都から道真を追い出してしまいました。

九州の大宰府に移された菅原道真は悲しんで都のことを思い出して、うたを作りました。

「東風吹かば、においおこせよ 梅の花

あるじなしとて春を忘るな」

道真は、わずか二年で亡くなりました。その後、都では風雨や雷が続き、道真を追い出した藤原氏の一人は雷に感電して死にましたので、人々は「道真のたたりだ」と恐れおののきました。やがて、京都の北野神社に道真は「菅公」としてまつられ



「かわいい子供たちよ(こども)がいらっしました」

三月二日中央公民館に、小須戸幼稚園の園児たちが見学の為来館しました。

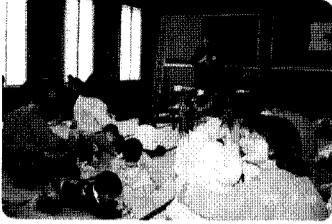
社会見学の途中で、幼稚園バスで地域を廻っているとの事で一階・二階・三階と見てもらい、園児たちからは「公民館は何部屋ありますか?」「公民館の図書室の本は何冊ありますか?」とか、色々な質問がありました。みんななつかたよね。

次の見学場所である、ふれあい会館へ移動しました。

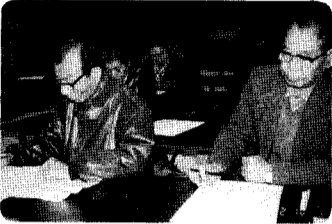
今年、ピカピカの一年生になる子供たち、まぶしいくらい光り輝いていました。



2月の
ナイス
ショット



10日 乳児家庭教育学級つくしんぼ 家庭で起きた事故のアドバイスのお話でした。



10日 おもしろ雑学講座「ベビーブーム、地球は丸かった、オイルショック、クリスタル球、等々ありました。」



21日 折り紙教室 今月は「おひなさま」を折りました。

お話 上田秀雄さん(新津市) (教育相談指導員) これだよいか

「催し物」案内

阪神大震災義援金 チャリティカーラオケ発表会 期日 四月二日(日) 午後一時から

「小須戸分館」文化講演会 期日 三月二十七日(月) 午後七時三十分から九時 会場 中央公民館二階会議室 テーマ 「子育ては」

第十七回全国スポーツ少年団 剣道交流大会出場

来る三月二十七日(月)から二十九日(水)まで、山口県スポーツ文化センターに於いて、第十七回全国スポーツ少年団剣道交流大会が開かれます。

この大会は、団員に競技の喜びを経験する機会、団員のより向上と交流を深め、仲間意識と連帯を高めるため研修することをねらいとして実施されます。この大会に参加される方々の健闘を祈ります。

「お年寄りの介護者のついで」のお知らせ

ご家族にお世話が必要なお年寄りがいらっしゃる方は、お気軽にご出席下さい。

今回は、新しく四月にオープンするデイサービスセンターを見学しながら、お年寄りのお世話の方法を学びたいと思います。

日時 三月二十九日(水) 午後二時~三時半 会場 デイサービスセンター (大川前四)

内容 ・デイサービスセンターの見学
・介護方法について話し合い
・血圧測定(希望者)
※お問い合わせは、保健福祉課 保健婦まで (電話 三八三二二)

代田分館婦人学級閉級式

現在一〇三名の会員を持つ矢代田分館婦人学級の閉級式が、二月二十四日ふれあい会館で行われました。

閉級式終了後、交通安全婦人部の結成の提案がなされ全員一致で承認されました。

山月会

でもありません。毎月第一・三(月)午後一時~三時まで、中央公民館で教室を開いております。楽しい集いです。山月会はいつでも入会できます。

生涯学習と叫ばれる時代が、到来した今日、趣味を持って若返り、健康を保つ事が、なにより心強いことだと思えます。

小須戸町文化協会の加盟団体の中にも、趣味として学べるものが、数多くあります。その中に私達「書」を学ぶ人の集まりが、山月会です。

さあ!どこかにしましこんだ筆を探して下さい。毛筆を始めることになる動機は小さくてもよいのです。「書」に限らず目的を持って何かに打ちこんでみると、毎日の生活が有意義なものに変わっていきます。毛筆は難しいと決めつけず、前向きな気持ちを持って下さい。

私達も毎年町民展に出品しておりますが、ひらがなと、言葉がなごやかな書は、又格別な美を表現します。「書」は天候に左右されることもなく、ある季節にしかできないと言うもの

小須戸町老人クラブ連合会 親善輪投げ大会

三月五日(日)、小須戸小学校体育館において、百六十名の参加を得て、第九回親善輪投げ大会が行われました。

〈団体戦〉 (敬称略)

優勝 小須戸第三チーム
準優勝 第二チーム
三位 第一チーム

〈個人戦〉

優勝 阿達由夫(矢代田六)
準優勝 小林秀吉(中央町三)
三位 等原直松(ウデコキ二)

〈特別賞〉

●一回の最高得点 57点 等原直松(ウデコキ二)
●一回に入った輪の数 8個 上田 弘(若葉町二) 8個 吉沢トク(鎌 倉) 8個 日本人のものさし 草 恩 社

「催し物」案内

阪神大震災義援金 チャリティカーラオケ発表会 期日 四月二日(日) 午後一時から

山月会

でもありません。毎月第一・三(月)午後一時~三時まで、中央公民館で教室を開いております。楽しい集いです。山月会はいつでも入会できます。

山月会

でもありません。毎月第一・三(月)午後一時~三時まで、中央公民館で教室を開いております。楽しい集いです。山月会はいつでも入会できます。

図書だより

中央公民館

海の街道(上下) 童門 冬二
猫と海鞘 群 ようこ
純愛 下重 暁子
雪深し 安田 辰昭
心に残るとっておきの話 3
そう悪くない 林 真理子
晏子(下) 宮城谷昌光
何かへんだぞ、中学生 大久保晋作
さらば長き眠り 原 察
照 穂 高村 薫
気まぐれ美術館 洲之内 徹
ファザラ、カー 内田 春菊
風よ空駆ける風よ 津島 佑子
中国人のものさし 津島 佑子
日本人のものさし 草 恩 社



山月会

でもありません。毎月第一・三(月)午後一時~三時まで、中央公民館で教室を開いております。楽しい集いです。山月会はいつでも入会できます。

柳 音痴で不意の指名に酔いも冷め 懐の手帳に載せて置く秘策 高橋ただし
ダイアナ妃急の来日そよぐ花 増井都留
不意に告ぐ結婚式の日取りまで 松沢キヨ

雪やみし山の静寂に憩いいる類まるやかな石の
のみほとけ 大森美恵子
この年もすぎゆくものか父の忌に誰の飾りを
淋しと見るも 長井利恵子
それぞれの病いかかえて順待ちし待合室にわ
れもまたいる 本多玲子
たんぽぽは春に咲くのはどうしてと幼ら交互
に吾に尋ぬる 河内ヒロ
帰省子の帰りし後の玄関は只広くなり寒風の
入る 小林芳子

ふれあい会館

おごるな上司 堀田 力
検査捜査 中嶋 博行
極北の光 曾野 綾子
両像・森鷗外 松本 清張
前田利家(上、中、下) 心に残るとっておきの話一・三
津本 陽 潮文 社

あいまいな日本の私 大江健三郎

俳句

わらべ明真似る見とみて福寿草 藤井ハル工
求の間の笑ひの中や受験の子 渡辺信子
鯉ひそむ池に吸はるる牡丹雪 間野えり
福寿草われも長寿の仲間入り 長井武雄
摺りこめし水も寒九の古端淡 間野良遊
凍空の蒼さの彼方葬送る 田中美根子
吹雪道きて脳の芯まで真白 丸山虚秋
仕事場は農に繰る初暦 五十嵐香月

山月会

でもありません。毎月第一・三(月)午後一時~三時まで、中央公民館で教室を開いております。楽しい集いです。山月会はいつでも入会できます。

フオレスト・ガンパ ウィンストン・グルーム 雅子さまと新しい皇室(写真集) 大江健三郎
天狗藤吉郎(上・下) 山田 智彦 戦後50年(写真集) 毎日新聞社
聖なる予言 角川 書店
口中医舟波かがり 勝見 秀雄 毎日新聞社
夜に忍びこむもの 渡辺 淳一 これから10年(たの)の発見 船井 幸雄
風雲児(上下) 白石 一郎 超能力霊能力解明マニユアル 大槻 義彦
坂口安吾 新潮 社
母の恋文 谷川俊太郎 蛭子能収のクワイもの見たさ
木のいのち木のこころ 塩野 米松
ころの日曜日2 法 研 わが生涯 住井 すす
ふれあい会館 堀田 力 永遠も半ばを過ぎて 中島 ちよ
おごるな上司 中嶋 博行 遠い過去近い過去 渡辺 淳一
検査捜査 曾野 綾子 心に残るとっておきの話一・三 潮文 社
極北の光 松本 清張
両像・森鷗外 津本 陽 回復する家族 大江健三郎
前田利家(上、中、下) 津本 陽